

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 井部良一(富士見台小学校)

平成27年7月 第2号
担当 下小田中小学校 鈴木 聡

鎌倉のよさを伝える「いざ!なぜ?鎌倉!」



平成27年7月8日(水)、川崎市立富士見台小学校にて第1回授業研究会が行われました。授業者は黒田俊介先生、6年国語「パンフレットを作ろう」の単元で、鎌倉のパンフレット作りについての学習でした。

パンフレットの読み手を5年生と設定し、「読んだら鎌倉に行きたくなるようなパンフレット」を作るために、記事や写真などの配置をグループで協力しながら行いました。

本時では、本研究会の掲げる「情報活用のための実践力」の中でも、「くみたてる力」に焦点をあてました。パンフレットとして効果的な記事の構成や写真などの配置、そしてそれらを組み合わせて編集していく授業デザインを提案しました。本時はもちろんのこと、教室掲示などの日常的な取り組みや、「メディアの目」などの視聴覚教材を生かした取り組みについて、様々な工夫の跡が見える提案になりました。

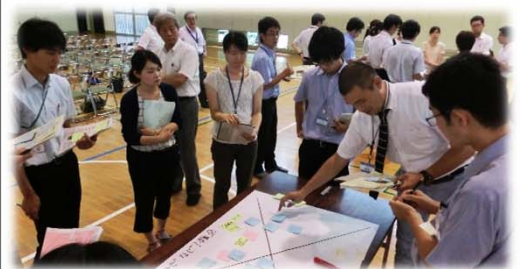
チェックリスト、使っていますか?

指導講評では、情報視聴覚センターの椎名美由紀指導主事より、「情報活用能力」について、チェックリストや文科省の調査結果などを交えてお話を頂きました。



現在の小学生は、情報活用能力についての課題はあるものの、それを直接教えるための時間は教育課程上は用意されていないこと。だからこそ、日常の取り組みの中で情報活用能力を育てていかなければならないこと。そして、きちんと情報活用能力を意識して日々の指導をしていくことで、成果は現れてくること。明日からの指導で、身近な取り組みから情報活用能力を意識したくなる、そんなお話でした。

話しやす〜い(^o^) 研究協議



情報教育研究会の研究協議は、Xチャートを利用し、ファシリテーターを中心にグループごとに協議が進んでいきます。グループは少人数で構成されているので、話しやすく、質問がしやすい雰囲気、大変有意義な時間です。